

いそがば まわれ

作・演出：茂山逸平

もののふの矢橋の船は速けれど
急がば回れ瀬田の長橋

こんな近江八景って、あり？

茂山逸平による新作狂言!!

おうみ 狂言 鑑 2021

チケット発売日
11/14(土)
10:00~

出演者	C	A B	A				
	茂山七五三	茂山あきら	茂山千五郎	茂山 宗彦	茂山 茂	茂山 逸平	茂山千之丞
	A		B	A B			
網谷 正美	丸石やすし	松本 薫	島田 洋海	増田 浩紀	井口 竜也	入場料(税込) ※未就学児入場不可 一般 2,000円 青少年 (25歳未満) 1,000円	

A 2021年 2/13(土) 14:00開演 (13:00開場)
 草津市立 草津アマカホール
 草津市草津三丁目13番30号 ☎077-561-2345
 古典: 附子/濯ぎ川
 新作: いそがばまわれ
 URL <http://www.amicahall.net/> **全席自由**

B 2021年 2/28(日) 14:00開演 (13:00開場)
 日野町町民会館 わたむきホール虹
 蒲生郡日野町松尾1661 ☎0748-53-3233
 古典: 蝸牛/棒縛
 新作: いそがばまわれ
 URL <https://www.rmc.ne.jp/watamukihall/> **全席指定**

C 2021年 3/20(土・祝) 14:00開演 (13:00開場)
 東近江市てんびんの里文化学習センター
 東近江市五個荘竜田町583 ☎0748-48-7100
 古典: 因幡堂/魚説経
 新作: いそがばまわれ
 URL <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/> **全席指定**

チケットのお求め先

全公演取扱い ローソンチケット Lコード:53880 <https://l-tike.com/>
A Bの取扱い びわ湖ホールチケットセンター (現金・窓口販売のみ)
Aの取扱い 草津アマカホール、草津アートセンター(草津クリアホール内)
Bの取扱い わたむきホール虹、東近江地域勤労者互助会
Cの取扱い (一財)甲賀湖南中小企業福利サービスセンター
 てんびんの里文化学習センター、東近江地域勤労者互助会

※「おうみ狂言図鑑2021」全3公演のうち、2公演以上のご鑑賞で、茂山家オリジナルグッズがもれなく当たる!

(主催) (公財)びわ湖芸術文化財団、(公財)草津市コミュニティ事業団 (一財)日野町文化振興事業団、東近江市
 (後援) 滋賀県教育委員会、東近江市教育委員会、草津市、草津市教育委員会、日野町、日野町教育委員会、(株)エフエム滋賀、(株)えふえむ草津
 (制作協力) (株)童司カンパニー

◎来館時にはマスクをご着用ください。◎発熱・体調不良の場合は、来館をお控えください。◎入場時には体温チェックを行います。入場までにお時間がかかることが予想されますので、十分な余裕をもってお越しください。◎出演者への差し入れ・面会はお控えください。◎その他、各劇場の感染対策ガイドラインにご協力をお願いいたします。◎感染症予防対策をはじめ、やむを得ない事情により、出演者や当日の対応等に変更が生じる可能性があります。

いそがば まわれ

おうみ狂言図鑑
2021新作

作・演出:茂山逸平



主人が太郎冠者を連れて物見遊山に出かけますが、名所を巡りたい主人と名産を味わいたい太郎冠者の意見に折り合いがつきません。一計を案じた太郎冠者は近江八景を勝手次第に作り変え、主人を案内して何とか名産に有り付こうとするのですが、…

おうみ狂言図鑑とは？

2011年から茂山千五郎家の協力を得て、滋賀県を題材にした新作狂言を制作し、現在までに9つの作品が生まれています。これらの作品を「おうみ狂言図鑑」としてコレクションし、滋賀県だけではなく全国でも広く上演され、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信し、みなさんに親しまれていくことを目指します。

おうみ狂言図鑑2021 古典作品あらすじ

2月13日(土) 草津市立 草津アマカホール

附子(ぶす)

見ると言われたら見たくなるのが人情

太郎冠者・次郎冠者に留守番を言いつけた主人。桶の中身は附子という猛毒なので絶対に近づかないように、と言って出かけます。二人がこわごわ桶の中を覗き込むと、中身はおいしそうな砂糖。結局すべて平らげてしまい、言い訳のためにと主人秘蔵の掛け軸や天目茶碗を壊して大声で泣きながら主人を待ちます。帰宅後、激怒する主人に二人は…。



濯ぎ川(すすきがわ)

皆さんのご家庭に心当たりは…？

毎日、嫁と姑に追い使われる養子の男、この日も裏の川へ洗濯に行けと言いつけられます。まだろくろく時もたたぬうち、やれ蕎麦を打て、やれ水を汲めと次々に用事を言いつけられ、男は「用事を忘れぬよう、紙に書き付けてくれ」と言い出します。嫁と姑は、朝から晩までの用事の事を次々と文にしたため、男に渡します。男は文に書いて無いことはしなくてもよいと、約束をとりつけ、ほんの、ほんのささやかな反抗を試みますが…。昭和28年初演。飯沢匡 作、武智鉄二 演出。最早古典といわれる昭和の新作狂言。



2月28日(日) 日野町町民会館 わたむきホール虹

蝸牛(かぎゅう)

条件はすべてクリアしているのに

太郎冠者は主人の言いつけで長寿の薬になるという蝸牛(かたつむり)を探しに山へ出かけます。そこで修行の帰りに竹やぶで休んでいた山伏に出くわします。蝸牛を見たことがない太郎冠者は、主人から聞いた特徴から山伏を蝸牛だと勘違いし、屋敷へ連れて帰ろうとします。



棒縛(ぼうしばり)

この二人、こういう知恵を仕事で使えば……

留守になると家来たちが酒を盗み飲みするので困っていた主人。そこで次郎冠者を棒に、太郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまいます。不自由な格好で留守番するはめになった二人は、ならばいよいよ飲んでやろうと工夫を重ね、ついに酒にありつきます。二人が酒宴を繰り広げているところに用事を終えた主人が戻ってきて……。



3月20日(土・祝) 東近江市てんびんの里文化学習センター

因幡堂(いなばどう)

いつの世も妻はこわいもの

大酒飲の妻をもった夫は、妻が実家へ帰っている間に離縁状を送りつけ、因幡堂へ新しい妻を得るために妻乞いに行きます。そこに腹を立てた妻がやって来て薬師になりすまし「西門の一の階(きざはし)に立った女を妻にせよ」と告げ、自分はその場所へ行って被衣(かずき)をかぶって待ち構えます。喜んだ夫は新しい妻だと信じこんで連れ帰ります。祝言の盃で女は何杯も飲み干すうえ、顔も見せません。たくましくうるさい女とそれに対抗しきれない弱気な夫との対比がおもしろいお話です。



魚説経(うおぜつきょう)

魚のことならお任せあれ!

津の国兵庫の浦の漁師は殺生が嫌になり出家をしましたが「にわか坊主」なので経も読めず説経もできません。仕方なく都へ上り勤め口を見つけようとしていると、持仏堂で法事してくれる僧を探し信心深い男と出会います。話がまとまり男はにわか坊主を連れて帰りさっそく説経を頼みますが元は漁師、魚の知識だけは豊富で…。

